

(本人の名前または親しみやすい愛称を記入)

# まるくん

## サポート・ブック

- ・このサポート・ブックは ○田 ○太郎 さんとその支援者（担任の先生、学習補助や介助、預かり保育の先生など）の双方をサポートするために作成されました。
- ・本人にとって分かり易く伝わり易い接し方や、対応のテクニックのコツが分かると、支援者も楽になります。
- ・家庭での経験や、客観的資料に基づいて作成されたものですが、実際の状況に合わせて、適宜ご判断、ご活用頂けますよう、お願い申し上げます。
- ・個人情報の取り扱いには十分ご配慮下さい。

作成日：2015年 1月 10日

記入者：母・○代

# プロフィール

名前： ○田○太郎

生年月日： 2005年 1月 1日生 (○型)

家族： 父・○夫、母・○代、弟・○次郎

住所： ○○市○○町1-2-3

連絡先 (関係・場所・連絡可能な時間帯等) :

母ケータイ 090-XXXX-XXXX (いつでも可)

自宅 0123-XX-XXXX (3:00pm-8:00pm)

父職場 0111-XX-XXXX (緊急時のみ)

## ●かかりつけ医院 (名称・所在地・受診状況など)

○○発達クリニック (○○区○○町)

3ヶ月に一度定期受診・カウンセリング

○○小児科 (○○市○○町)

病気、アレルギー、予防接種など

## ●相談先・支援機関 (名称・所在地・支援状況など)

○○支援塾 (○○市、月2回通塾)

学習の遅れ、宿題のサポート、発達相談など

○○親の会 (○○町)

母の育児相談先、療育あそびなど

(現在通っている外部の支援・療育機関、相談先などがあれば記入。一般の習い事もサポートになっていれば書く)

## 発達特性（特別な個性）

診断名： 高機能自閉症 (診断ある・なし)

LDとADHDの傾向もある

医療機関：〇〇発達クリニック (2012年12月)

投薬：ある・なし (薬名 )

(投薬があれば作用や、投与の状況など)

発達・知能検査： 実施した・予定・していない

※検査結果・意見書等あれば資料としてコピーを添付、または「検査結果のまとめ」カードをご活用下さい。

### ●特性（発達上の特徴）

言葉の心配 (とても・ややある・なし)

知的な心配 (とても・ややある・なし)

多動性・衝動性・不注意性 (とても・ややある・なし)

学習の困り (聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する)

感覚の過敏性 (視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚・その他)

言語理解 (視覚優位・聴覚優位・両方または分からない)

その他発達上の心配など

身体の動きが固い、不器用

(当てはまるものに✓と○をつける。分からなければ未記入)

## 検査結果のまとめ

検査の種類： WISC-IV（知能検査）

実施機関：〇〇発達クリニック

検査日： 20XX年 X 月 X日（年齢 8才 〇ヶ月）

結果：IQ値=100

特に優れた項目：

知覚推理（空間図形、視覚情報）

特に心配な項目：

ワーキングメモリ（短期記憶）

全体的なバランスや発達の特徴等：

できる部分に対しての処理能力が追いつかない。

主治医または検査者（臨床心理士等）の意見・助言

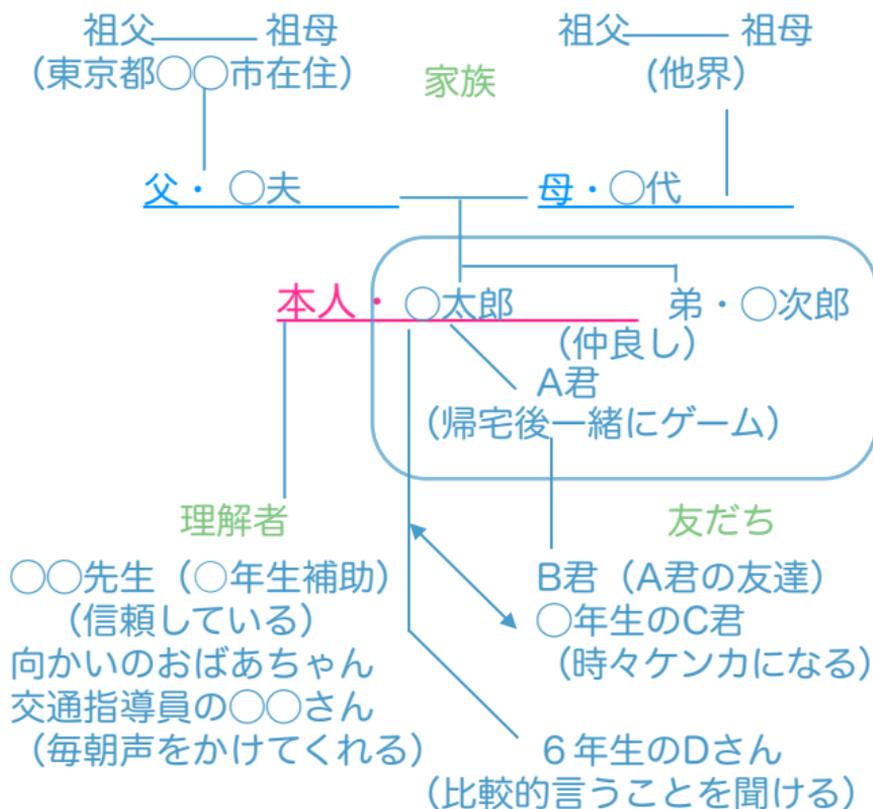
- ・興味のあることはじっくり取り組めるが、集中力の維持が苦手。刺激の少ない環境を整えると良い。
  - ・前回の検査に比べ、自信のなさが伺える。
- 小さなことでもほめてあげることが大事。

（医師や検査担当者の助言があれば記入。何度も検査をしている場合は複数枚で経過を書いても良い。実物のコピーなどの資料を添付しても良い。医師などの客観的な意見を入れると信頼性が増す）

（ 臨床心理士さん より）

# 人間関係map

(2015.1月現在)



(人的な援助資源の有無が分かり易いようにする。本人が心を開いている友達、よくトラブルになる友達、校内や通学路で頼れる先生や近所の人など。子どもの人間関係は変わり易いので、できれば本人に確認して適宜修正していく)

## 発達の凸凹～体質的な得手・不得手～

### ●得意なこと（行動・作業）

- ・目から入った情報を理解・記憶する
- ・アイデアを出す・考える
- ・興味のあることに集中する
- ・マラソンなど、単独でできる運動・・・等

### ●苦手なこと（行動・作業）

- ・耳から入った情報を理解・記憶する
- ・大事な話と雑音の選別
- ・小さな文字を書く（改善してきている）
- ・急な予定変更、予測のつかないこと・・・等

（「○○すること」という、本人の行動・作業で得意なこと、苦手なことを書く。「ワガママ」「短気」などの性格的な表現は避け、行動で書いたほうが支援者も対応を考え易い）

# いいところリスト

## ●できること・がんばっていること

- ・ 自分で簡単な料理を作れる（トースト、うどんなど）
- ・ 自転車で〇〇町の〇〇まで一人で行けた
- ・ 弟の荷物をもってくれる
- ・ 納得できれば苦手なゲームでも参加できる
- ・ 少しずつ友達ができてきた
- ・ 学校を病気以外で休まなくなってきた
- ・ 宿題に取り組んでいる・・・等

- ・
- ・
- ・ (本人の努力、がんばりによる「いいところ」をできるだけ沢山書く。「優しい」なども、どんな優しい行動がとれるのかを具体的に。しぶしぶでも妥協できることや、完璧でなくとも取り組んでいること、「登校できる」など、一見当たり前のようなことも、評価する目線を下げて、少しでもできている部分を伝える)
- ・
- ・
- ・
- ・

## すごいところリスト

### ●特技・とても詳しいこと

- ・ ○○博士。○○のことならなんでも知っている
- ・ 水道水を飲んで蛇口を当てられる
- ・ 木登り名人。高い所の柿がとれる
- ・ 「○○」の全モンスターが言える
- ・ 雨が降ってくる前に分かる
- ・ 錠前のロックナンバーや暗証番号をよく覚えている・・・等

- ・ (本人の特性による才能、いわゆるギフテッドの部分
- ・ を具体的に書く。格別に突出したものでなくとも良い
- ・ ので、本人の自尊心・自己有能感の回復につながりそ
- ・ うなもの、人の役に立てる可能性があるものは伝えて
- ・ みる。話の糸口になったり、クラスで役割を与えられ
- ・ るきっかけになる可能性もある)

## 好き・嫌い

### ●好きなこと・もの（遊び・趣味・食べ物など）

ゲーム：「○○○」、RPG、パズルゲーム  
あそび：数字並べ、レゴ  
食べ物：和食（スシ、和菓子）、スイートポテト  
マンガ：「○○○」・・・等

（本人が夢中になっているもの、好きな物を具体的に。コミュニケーションの手がかりとなる他、学習理解などで役立つ情報になる可能性もある）

### ●嫌がること・もの（場所・音・食べ物など）

食べ物：フルーツ全般、プチトマト、ゼリー  
場所：混雑した所、エレベーター、電車など  
人：女の子に細かく注意されること  
他、急な予定変更、特別日課など・・・等

（苦手なもの、パニックやかんしゃくの原因になる可能性があるものを具体的に。トラブルの回避や気持ちを分かってもらえて落ち着く可能性もある）

### ●落ち着くこと・もの（場所・遊び・人など）

自由帳を描く、保健室、職員室（○○先生のところ）  
弟と話す・・・等

（本人に希望を聞いて、校内で対応可能な落ち着く場所、避難先を決めて伝えておくの良い）

## パニック・問題行動の記録

いつ： H.○年 ○月（ ○年生の頃）

前の状況や要因：

チャイムが故障で鳴らなかった

本人の行動： 休み時間から気持ちが切り替えられず  
授業が始まって、泣きながら自由帳を描き続けた。

その時の対応：

補助の○○先生と廊下にいた。

家で「機械は壊れる可能性がある」ことを  
文章で説明した。

いつ： 年 月（ 年生の頃）

前の状況や要因：

本人の行動： （「学校で今後も起きる可能性のある重要なこと」に絞る。授業を放棄したり、欠席の続く理由になった出来事など。その時どう対応したのかも具体的に書く）

その時の対応：

# サポートの必要レベル

## ●生活面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる  
現在の課題とできていること：

忘れ物→持ち物の工夫で減っていますが、特別日課で  
増え易いようです。

整理整頓→大きな物はラベルがあれば仕舞えます。

## ●学習面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる  
現在の課題とできていること：

時間内に終わらない→○○先生の取り出し授業で  
フォロー、調整して頂いています。

漢字を書くのが苦手→下書きなどで取り組めます。

## ●社会面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる  
現在の課題とできていること：

ゲームの参加→納得できる説明があれば参加できます。

(大まかに「どの程度のサポートが必要か」を把握する  
ためのもの。「ここまではできている」ことも伝える)

## サポート・テクニック集

- ・本人の困りに対する対応方法のコツ・参考アイデア集です。
- ・家庭での実際の対応や、各種医療・支援機関からの助言、参考書籍・HPなどを元に、本人にとって分かり易く受け入れ易い方法を具体的に挙げていますので、実際の状況に合わせて適宜ご判断・アレンジしてご活用下さい。
- ・学校などにおいては、学級の人数や他のお子様との関係、支援環境などの状況によって、必ずしもこのとおりの対応は難しいこともあると思います。その場合も、本人の困りや保護者の気持ちに寄り添うことがサポートになります。

### ●記入の際には（保護者のかたへ）

- ・困りに応じて必要枚数カードをプリントし、なるべく具体的に声かけなどの対応の実例をご記入下さい。家庭で実際に使っているツールや工夫があれば、カード裏面に写真などを印刷すると分かり易くなります。
- ・「今現在困っていること」「学校等で特に心配なこと」に絞って書きます。細かな気付きなどは、「よくある困りと対応例」のカードや、参考資料のコピーや抜き書きなどを巻末に添付して、一覧にまとめると良いでしょう。
- ・状況によって、学校等では必ずしもこのとおりの対応が難しい場合もあると思います。その場合も、本人の困りを伝えていくことで理解を深めてもらうことができます。

### ●行動（つまずき）

- ・支度が遅れる
- ・時間内に課題が終わらない

（本人がつまずきやすい「行動」を簡潔に具体的に）

### ●本人の困り（つまずきの理由）

- ・先の予測が苦手、気持ちの切り替えが苦手
- ・一度に複数のことをしてしまう

（つまずきの原因となっている、発達上の理由が分かれば書く）

### ●サポート・テクニック

- ・「あと〇分でお出掛けだけど、大丈夫？」など、具体的に数字を出して声かけ
- ・課題を小さく分ける、ふせんやメモ、リストで手順を箇条書きで書いて、終わったら取る。  
（自分でできるように練習中です）
- ・次に移る前に身体を動かす、トイレなどの声かけ

（家庭で実際に有効だった方法で、学校でも対応可能なアイデアを、具体的な実例や声かけ例で書く。「配慮して下さい」などの曖昧なお願いは避ける。裏に写真なども良い）

## このサポートブックの扱いについて

子どもの発達に合わせて課題が変わるため、必要に応じてカードを追加・修正をする場合、

連絡帳に挟んで、担任の先生にその都度追加のカードをお渡し致します。

学期・年度の終わりにご返却下さい。新学期に追加・修正してお渡し致します。

窓口となる先生（先生）を通じてお渡し致します。

その他の希望

ご担任・ご担当期間が終わりましたら・・・

次の担任・担当者様へ引き継ぎ頂けますようお願いいたします。

窓口となる先生（支援コーディネーター○○先生）から次の担任・担当者様へお渡し下さるようお願いいたします。

一旦保護者へご返却下さい。

その他の希望

（サポートブックの追加・修正や進級時の引き継ぎの希望を書く。できれば特別支援コーディネーターや管理職の先生、スクールカウンセラーなど、窓口となれる先生に継続的に見守ってもらえるようお願いできると良い）

## 楽々式サポートブックについて

この「楽々式サポートブック」のフォーマットは

<http://www.rakurakumom.com>

の「メニュー」→「idea&tools」→「支援ツールのシェア」より、どなたでも無料ダウンロードできます。

詳しい書き方・渡し方などは同HPをご参照下さい。

他にもオリジナル視覚支援ツールなどを提供しています。発達障害のお子様にとって分かり易く受け入れ易い方法は、他のお子様にとっても分かり易く受け入れ易い方法です。

「楽々式サポートブック」は主に軽度・グレーゾーンに当たる発達障害のお子様を、学校等でサポートすることを想定して制作しております。より詳細な医学的情報の記入や配慮をご希望のお子様には、各自治体・教育委員会などが提供しているサポートブックのご利用をお勧め致します。

発達障害のお子様への対応は、保護者と支援者がお互いにサポートし合うことで、本人のサポートにつながります。困ったこと・心配なことがあれば、その都度課題を共有し、ひとつひとつ具体的に対応していくと、必ず落ち着いていきます。

ただし保護者・支援者が、個人でできる範囲を超えて頑張りすぎると、結果的に子どもの支援ができなくなります。必要に応じて、校内のチーム援助や外部の協力機関、相談先等、サポートする側もサポートされるように、ご助力・ご協力頂きますよう、関係者様にお願い申し上げます。

サポートブックによって、子ども・保護者・支援者の全てに対して、理解と支援の手が差し伸べられるよう願っています。